

資料3 リスクアセスメントワークシート（積算法）

項番	危険源の種類	危険状態	作業項目	作業場所	危険源	危険の対象	リスクの見積り					評価結果	採用した安全方策	リスク再見積り					リスク再評価	備考
							LO発生予測	FE危険源に曝される頻度	DPH損害の程度	NP危険となる対象人員	危険指数			LO発生予測	FE危険源に曝される頻度	DPH損害の程度	NP危険となる対象人員	危険指数		
危険源、危険状態及び危険事象																				
1	機械的危険源																			
1.1	押しつぶしの危険源	シリンダ駆動の可動部に頭、手が挟まれる	ワーク脱着	A P C 内	シリンダ駆動の可動部	操	2	4	2	1	16	重大な		1	2.5	2	1	5	条件付き許容	操作教育
			加工調整			操	2	1.5	2	1	6	少ない	自動手動扉を設置	0.033	1.5	2	1	0.1	許容	
			保全調整			サ	5	1	2	1	10	重大な	側面にカバーを設置	0.033	1	2	1	0.07	許容	
			異常処理			操サ	8	0.5	2	1	8	少ない	保全時はロックアウトして作業	0.033	0.5	2	1	0.03	許容	

凡例	操	機械操作者
	補	補助作業員
	サ	保守サービス員
	3	機械に近接する第三者

資料４ リスク確認実施例

－リスクアセスメントワークシート（リスクグラフ法）－ （制御システムの安全カテゴリ決定に利用）

項番	危険源の種類	危険状態	作業項目	作業場所	危険源	危険の対象	リスクの見積り				評価結果	採用した安全方策	リスクの再見積り				リスクの再評価	備考
							危害の ひどさ	危険源に 曝される 頻度	危害の 回避の 可能性	リスク レベル			危害の ひどさ	危険源に 曝される 頻度	危害の 回避の 可能性	リスク レベル		
危険源、危険状態及び危険事象																		
1	機械的危険源																	
1.1	挟まれ・ 巻き込まれ	機械の可動部に頭、手が挟まれる	ワーク脱着	APC内	機械の可動部	操	S2	F2	P2	V	許容できない	自動手動扉を設置	S2	F1	P1	II	条件付許容	操作者教育
			加工調製			操	S2	F1	P2	III	許容できない	自動手動扉を設置	S2	F1	P1	II	条件付許容	操作者教育
			保全調製			サ	S2	F1	P2	III	許容できない	側面にカバーを設置	S2	なし			許容	
			異常処理			操サ	S2	F1	P2	III	許容できない	保全時はロックアウトして作業	S2	なし			許容	

凡例	操	－ 機械操作者
	補	－ 補助作業員
	サ	－ 保守サービス員
	3	－ 機械に近接する第三者